

経営計画各指標の実績について

大和市立病院経営計画(2023年度～2027年度)では、52項目について目標を設定し、進行管理をしています。

令和6年度の達成度は「概ね(80%)目標到達している」以上で90%(46項目)となっており、このうち目標到達は26項目です。

なお、通番37 新型コロナウイルス等検査件数は、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に2類から5類へ移行されたことに伴い令和6年度から評価対象から除外しています。

役割・機能の最適化と連携の強化

通番	内容	令和6年度 目標	令和6年度 実績	令和3年度 (計画策定時点)	目標値の考え方
3(4)①医療機能に係るもの					
1	地域救急貢献率	32.8%	34.1%	29.0%	令和3年度の救急車受入実績の伸び率を元に増加を見込みます。
2	手術件数	4,500件	3,964件	3,845件	年200件程度の上昇を目指し、4,900件を最終年度(令和9年度)目標とします。
3	リハビリ単位数	52,650件	47,682件	43,096件	令和3年度実績から療法・勤務形態毎に1日の目標単位数を設定し、在職人数を掛け合わせて目標値とします。
4	放射線治療照射件数	6,500件	6,292件	6,394件	1件あたり15分枠で1日あたり最大照射件数27件×244日で見込みます。
5	地域分娩貢献率	18.0%	16.1%	14.5%	毎年おおむね1%の向上を目指し、20%を最終年度(令和9年度)目標とします。
3(4)②医療の質に係るもの					
6	患者満足度	90.0%	86.7%	82.4%	90%以上の患者さんに「本院にかかってよかった」と思ってもらえるよう目指します。
7	在宅復帰率	94.6%	99.2%	94.6%	既に高い在宅復帰率であることから、現状(令和3年度数値)の維持を目標とします。
8	クリニカルパス導入患者率	52.0%	52.6%	49.2%	毎年おおむね1%の向上を目指し、54%を最終年度(令和9年度)目標とします。
3(4)③連携強化等に係るもの					
9	紹介率	80.0%	81.7%	77.7%	地域医療支援病院の承認要件(80%)を達成し、維持することを目標とします。
10	逆紹介率	80.0%	86.9%	73.3%	計画策定時点(令和3年度)において地域医療支援病院の承認要件(70%)を達成していることから、80%を目標とします。
3(4)④その他					
11	臨床研修医の受入件数	8人	8人	8人	基幹施設としての県の定める定員数及び協力施設としての契約人数(8人)を維持します。
12	医療相談件数	15,500件	15,143件	15,409件	多様化する相談内容を適切に対応し、令和3年度実績程度を目標とします。

経営の効率化等

通番	内容	令和6年度 目標	令和6年度 実績	令和3年度 (計画策定時点)	目標値の考え方
----	----	-------------	-------------	-------------------	---------

8(1)①収支改善に係るもの

13	経常収支比率	101.2%	95.8%	108.5%	本計画に基づく収支改善の取組により、100%を超えることを目標とします。
14	医業収支比率	93.8%	87.5%	82.7%	一般会計からの負担金を現状と同様の水準を見込み、収支改善の取組結果後の推計値を目標とします。
15	修正医業収支比率	91.3%	84.6%	80.6%	一般会計からの負担金を現状と同様の水準を見込み、収支改善の取組結果後の推計値を目標とします。
16	累積欠損金比率	59.6%	71.9%	73.9%	一般会計からの負担金を現状と同様の水準を見込み、収支改善の取組結果後の推計値を目標とします。

8(1)②収入確保に係るもの

17	1日当たり入院患者数	310.3人	274.7人	241.3人	病床の有効利用を行い、病床稼働率80%を目標とします。(人数換算で322.4人)
18	1日当たり外来患者数	786.0人	739.9人	790.5人	令和4年度をピークとし、1年あたり500人ずつ減少を見込みます。
19	入院患者1日1人あたり診療報酬	67,300円	67,575円	65,254円	機能評価係数の向上等により、68,000円を最終年度(令和9年度)目標とします。
20	外来患者1日1人あたり診療報酬	18,000円	17,609円	17,136円	診療単価の低い外来再診患者(投薬のみ等)の減少を見込みます。
21	医師一人当たり収益	120,640千円	118,420千円	100,345千円	医師数の見込みを元に見込みます。
22	看護師一人当たり収益	31,557千円	31,090千円	28,975千円	看護師数の見込みを元に見込みます。
23	病床稼働率	77.0%	68.2%	59.9%	病床の有効利用を図り、最終年度(令和9年度)目標を80%とします。
24	平均在院日数	9.8日	9.7日	9.8日	計画策定時点(令和3年度)の平均在院日数は治療に要する適切な日数と考えられるため、現状を維持します。
25	DPC医療機関別係数	1.4802	1.5587	1.4177	業務改善等により取得可能な加算の届出を行い、機能評価係数の向上を図ります。
26	夜間看護配置加算対象月数	12か月	12か月	0か月	必要な人員を確保し、一年を通して加算の対象とすることを目指します。
27	看護補助体制充実加算	12か月	12か月	5か月	必要な人員を確保し、一年を通して加算の対象とすることを目指します。
28	血管造影室補助業務件数	610件	542件	613件	血管造影室補助業務にかかる職員のスキル向上により、月平均件数を10件ずつ増加することを目標とします。

通番	内容	令和6年度 目標	令和6年度 実績	令和3年度 (計画策定時点)	目標値の考え方
29	副傷病ありDPCの選択割合	3.75%	2.08%	3.30%	適切なDPC請求を行っている目安の一つとして、厚労省が公表しているDPC集計結果から算出した全国の副傷病ありDPCの選択割合と同等、もしくはそれより高い割合になることを目標とします。
30	栄養相談件数	1,500件	727件	827件	一日当たりの最大稼働を7～8件、予約率90%を見込みます。

8(1)③経費削減に係るもの

31	材料費対医業収益比率	24.9%	23.7%	26.1%	薬品費・診療材料費の購入価格の適正化を図り、24%を最終年度(令和9年度)目標とします。
32	診療材料費平均値引き率	6.5%	7.3%	4.8%	最終年度(令和9年度)の目標を8%とし、段階的な上昇を目指します。
33	委託費対医業収益比率	12.2%	12.3%	12.5%	今後のタスクシフトによる業務委託化等を考慮し、年6%の増加を見込みます。
34	職員給与費対医業収益比率	57.4%	64.8%	66.7%	過去の実績を参考に、職員給与費の増加を年1.5%で見込みます。
35	100床あたり職員数	144.9人	140.9人	138.7人	地域で必要とされる医療機能の維持に必要な体制を定めた条例定数に基づき見込みます。
36	後発医薬品使用割合	90.0%	92.0%	90.4%	後発医薬品使用体制加算1の施設基準を満たします。
37	新型コロナウイルス等検査件数	5,000件	4,852件	12,200件	インフルエンザと同等の検査件数を見込みます。

8(1)④経営の安定性に係るもの

38	医師数	96人	89人	95人	地域で必要とされる医療機能の維持に必要な体制を定めた条例定数に基づき見込みます。
39	看護師数	367人	339人	329人	地域で必要とされる医療機能の維持に必要な体制を定めた条例定数に基づき見込みます。
40	純資産(資本)の額	1,461,900千円	1,035,993千円	1,566,488千円	令和4年度決算見込みから、本計画に基づく収支改善の取組に基づき見込みます。
41	現金・預金保有残高	900,000千円	1,189,212千円	830,463千円	令和4年度現在に保有する残高をできる限り維持することを目指します。
42	企業債残高	2,653,397千円	2,618,691千円	3,351,490千円	単年度あたりの元金返済額から一般会計負担金を控除した額が4億円を大きく上回らないよう事業計画を調整し借入れをするよう見込み、償還額を差し引いた額として見込みます。

8(1)その他

43	有形固定資産減価償却率	78.5%	76.1%	74.3%	過去実績を参考に、毎年1.4%の増加を見込みます。
44	機械備品減価償却率	83.3%	76.6%	80.3%	過去実績を参考に、毎年1.0%の増加を見込みます。
45	1床当たり有形固定資産	54,299千円	54,510千円	53,814	過去実績を参考に、毎年0.3%の増加を見込みます。

目標達成に向けた重点的な取組項目

通番	内容	目標	令和6年度実績	令和3年度(計画策定時点)	目標値の考え方
9(2)1市民のいのちを守る救急					
46	救急車受入件数	4,388件	5,140件	3,592件	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口増に応じた救急体制の構築を検討します。特に高齢化に応じて救急患者数が増えていくと予測されている、心臓(循環器内科)・脳卒中(脳神経外科・脳神経内科)・骨折(整形外科)について、診療科間の連携を密にし、可能な限り対応できるよう努めます。 ・断らない救急体制の構築に向けて、「外来看護師の充実」や「医師間での緊急相談体制の強化」、「救急外来スペースの仕切り配置の見直し」、「救急専用受入病棟の設置」等の取組を進めます。
47	救急車からの入院件数	1,667件	2,050件	1,452件	
9(2)2機能分化で進化する地域連携					
48	地域医療支援病院登録医数	160件	188件	155件	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介・逆紹介を推し進め、地域における病診・病病連携を徹底します。 ・市内を中心に、前方連携として良好な関係性構築を目指し、医師が各医療機関を訪問します。 ・後方連携として良好な関係性構築を目指し、医療技術部中心で医療機関向け講座を開催します。
49	高度医療機器の共同利用件数	1,800件	2,144件	1,725件	
9(2)3コスト削減による経営改善					
50	フリーキャッシュフロー(3年平均)	500,000千円	28,514千円	△ 678,768千円	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費(特に薬品費)を公正かつより安価に購入します。 ・また、材料などの在庫管理を徹底します。
9(2)4診療報酬を的確に取得					
51	機能評価係数(Ⅰ・Ⅱ)	Ⅰ:0.3609 Ⅱ:0.0979	Ⅰ:0.4057 Ⅱ:0.1079	Ⅰ:0.2853 Ⅱ:0.0920	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期病院としてふさわしい施設基準及び加算項目の取得に努めます。 ・診療報酬改定時の加算等の取得の是非にかかる意思決定システムを構築します。 ・第三者から組織全体の運営管理及び提供される医療について評価される病院機能評価を受審します。 ・病院経営や診療報酬制度に精通した外部コンサルタントの活用による経営改善を推進します。
52	外来入院患者比率	2.43	2.69	3.28	